

輝く吉中生

（文化活動の表彰）

猛暑となった今年の夏、吉中生は文化活動でも素晴らしい活躍をみせました。ここでは、各コンクールの群馬県大会で上位に入賞した生徒の皆さんを紹介します。

群馬県夏休み小中学生絵画コンクール



審査員奨励賞

ひろこ
高橋 裕子さん

今年の5月、我が家にウサギがやってきました。妹が大好きなそのウサギを抱いている場面を描きました。柔らかい毛や、妹の表情を描くのに苦労しましたが、納得のいく作品が仕上がったのでよかったです。



県教育長賞

ようこ
深井 蓉子さん

忙しい夏休みにコツコツ頑張った成果が出てよかったです。まさか自分が選ばれるとは思っていませんでした。とてもうれしいです。

第56回全国小中学校作文コンクール 群馬県大会



優秀賞

もゆる
細矢 萌くん

昨年、読売新聞社賞をいただいたとき、今度は弟の芽の番だと思っていました。でもいろいろな人から書くことを勧められ、僕自身も書きたい内容があってもう一度がんばってみました。今回の優秀賞受賞は前回の受賞と同じぐらいうれしいです。でも一番うれしかったのは、やはり弟が最優秀賞を取ったことです。



最優秀賞

めくむ
細矢 芽くん

「自分の力を試してみたい」これが本心でした。兄が昨年頂いた群馬県最優秀賞が取れるかどうか、自分の実力を知らなかったのです。受賞の知らせを頂いた時には本当にうれしかったです。まだ、これから全国審査があります。僕の作文がどこまで評価されるか不安でいっぱいです。

動物愛護ポスターコンクール



金賞

さゆみ
田邊 紗弓さん

動物愛護ポスターで金賞という素晴らしい賞がもらえて、とてもうれしいです。動物に対する思いを、絵を通じてわかってもらえたと思います。動物は、人間にとってかかせない生き物だと思います。この気持ちを多くの人々に、ポスターを見てわかってもらえればいいと思います。



優秀賞

ひふみ
吉澤 日芙美さん

そうきんの汚れと部活動での体験を結びつけて作文を書きました。完成までに母からアドバイスをもらったりしたので、受賞したことをとても嬉しく思い、母に感謝したいです。これからも様々な経験を通して、考えることを続けていきたいです。



優秀賞

ちさと
加藤 千智さん

今回の作品を応募した動機は、「手術」という初めての体験を目の前にした自分の心境を記録しておきたかったからです。自分の素直な気持ちをそのまま表現できたのは、今回が初めてだと思います。実際、手術前に書いた作文をもう一度読んでみて、手術後の今の自分の気持ちと比べてみるのも面白そうだなと感じます。

